



第 75 号

発行所

岡山県子ども会連合会

広報部

700-0807 岡山市北区南方 2-13-1

岡山県福祉・ボランティア・NPO 会館

TEL (086) 226 - 1261

FAX (086) 226 - 1303

発行 平成 25 年 4 月

平成25年度に向けて

岡山県子ども会連合会 会長 赤澤 正基

平成25年度を迎えるにあたり、今年度、24年度を振り返ってみました。先ずお隣りの鳥取県米子市において全国中央会議が開かれました。2月という冬真つ只中、雪を心配しながら岡山道から中国道、そして米子道へと車を走らせ参加した全国大会。会場は、米子コンベンションセンターBIG SHIP。

全国より集まった関係者434名+120名の地元実行委員及び大会スタッフ等総勢550名を超える大変盛大に開催された全国中央会議・大会でした。

2日目には、分科会が終日行われました。参加した分科会では改めて子どもの全人格を形成していく上で、子ども会活動は偏らない幅広い様々な体験や活動することの大切さを再確認しました。

このような活動を展開するために、ジュニア・リーダーやシニア・リーダーの存在は欠くことができないものであることも重要視されています。

県子連においては、24年度はジュニア・リーダー養成研修会で蒜山登山に再挑戦しました。ジュニア・リーダーとして登山から様々なことを学びとり、今後の子ども会活動に大きく生かされるものと信じています。また、併せて育成者・指導者もKYTの重要性を痛感したはずです。

奇しくも年末には地元岡山で、中四国子ども会育成協議会主催によるKYT研修会が初めて開催されました。この研修会は全子連から派遣された専門講師（柴田俊明氏【公益財団法人伊藤忠記念財団助成事業部長】）によるもので、日々の子ども会活動でKYTのスキルアップを図るために、岡山県内をはじめ中四国各県から多くの育成者・指導者が参加しました。

新年度から新たな事業が展開されますが、子どもたちがそして、指導者・育成者が事故のない楽しい子ども会活動に取り組んでいかれることを今後とも望んでいます。

平成25年度事業予定

日時	行事名	開催地
4月22日（月）	県子連事務担当者会議	きらめきプラザ
5月10日（金）	県子連理事会	きらめきプラザ
6月16日（日）	県子連総会（表彰式）	ピュアリティ まきび
7月27～28日（土日）	県子連ジュニアリーダー研修Ⅰ	未定
8月23～25日（金～日）	中・四地区ジュニアリーダー松山大会	松山市 野外センター
9月7～8日（土～日）	桃太郎ミステリー列車	ミステリー
10月6日（日）	登山を通して学ぶKYT	県北の山
10月27日（日）頃	県子連子ども大会	美作市
11月9～10日（土日）	中・四地区育成研徳島大会	徳島 グランヴィリオホテル
11月17日（日）	県子連ジュニアリーダー研修Ⅱ	未定
12月13日（金）	県子連理事会	きらめきプラザ
2月14～16日（金～日）	全子連中央会議	松島（宮城県）

おめでとう!! 全国表彰 社団法人 全国子ども会連合会



平成25年2月15日(金) 米子コンベンションセンターに於いて、

文部科学大臣

下村 博文 様

鳥取県知事

平井 伸治 様

方々の御来賓をお迎えして、第46回(平成24年度)全国子ども会育成中央会議・研究大会が開催されました。連合会の丸山康昭会長の挨拶の後、長年の活動を讃えて団体・個人のみなさんに表彰状が授与されました。

岡山県からただ一人表彰されました。大変おめでとうございます。今後の活躍に期待いたします。

表彰(敬称略)

浅原 耕一

泰子 (倉敷市)

表彰にあたり

水島地区 浅原 耕一

第46回全国子ども会育成中央会議・研究大会(鳥取県米子市)において、栄えある全子連表彰を賜り誠にありがとうございます。

ふりかえれば、長女が小学校入学時より子ども会活動を始め現在にまで至っております。その間、子どもが卒業するまでとは思ひ、卒業時一緒に子ども会も終えるつもりでいましたが、いつのまにか周りに仲間も出来、楽しく活動させていただき地区役員、地区会長等色々経験させて頂く中でも、うちちょっともうちょっとという気持ちになりました。思い出としては、平成9年にジュニアリーダー育成組織の準備会の立ち上げ、翌年倉敷市内に初めて水島地区に「文化・ジュニアリーダー育成部」を作るとともに、ジュニアリーダーズクラブ「スナフキンズ」を結成し、平成24年に県子連にシニアリーダークラブを結成し、現在も

活動してくれていることです。

これからもジュニアリーダー活動等には力を入れていきたいと思ひます。今後ともご指導宜しくお願いします。



おめでとう!! 中国四国地区子ども会

表彰

個人

岡田 進 (津山市)

長谷 茂

(真由美) (美作市)

中西 公仁

(敏子) (倉敷市)

団体

ゆうりん園子ども会

(玉野市)

♪ サンサンサンで仲間を呼ぼう

サンサンサンで仲間を呼ぼう

仲間を呼ぼうサンサンサン

僕の心の太陽が 君の心の太陽が

真っ赤に燃えるそのときに

一人ぼっちよさようなら

サンサンサンでランランラン

サンサンサンでランランラン



蒜山リベンジ登山レポート

前号の第74号で報告したジュニアリーダー研修会Ⅰのリベンジ報告をいたします。



平成24年10月6日(土)ジュニアリーダー研修で来た7月とは打って変わり肌寒ささえ感じる初秋。晴れるかどうかは別として絶対に雨は降らないとする山岳経験のエキスパート赤澤会長を先頭に午前8:00 凜とした空気の中、登山開始。

今回、登山道を間違えることなく牧場の中の鉄条網に囲まれた道を進んで行った。鉄条網はいうまでもなく牛が入ってこないようにして張ってあるもの。しかし時間の早いせいか牛の姿は見えない。牧場を抜け立てである

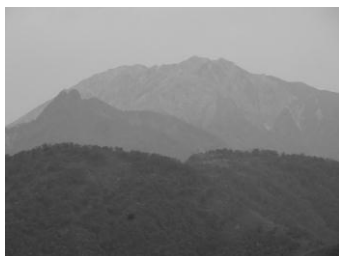
登山案内図をみながら杉木立の中へ入っていく。木立の中は薄暗い。



8:27 二合目に到着。少し休みすぐに出発。初めはさすがに肌寒かったものの次第に暑くなり全員上着を脱ぎバツグの中へ。

8:50 三合目 この頃から高木が消え比較的視界も開けた。眼下に広がる雲海と蒜山高原センターの観覧車がよく見える。西の方角に目をやれば山の間に大山の雄姿が望める。

9:16 五合目
9:25 六合目



9:59 八合目 尾根づたいにどんどんと登っていく。熊笹の道を進む。わりと簡単な道ではあるが、時に雨風でえぐられているところもある。反対方向の下蒜、中蒜から来る登山者もけっこう多く道のゆずりあい場面も多い。

10:26 上蒜山頂上到着。



ここは看板のみで特に景色がいいわけでもなくすぐに中蒜山に向かう。ここからいったん下りまた、登っていく。このあたりでは日本海からのかなりきつい風が吹いている。冬だと相当厳しいのだろうと容易に想像できる。正面に中蒜・下蒜を見据えひたすら登るのみ。



11:30 中蒜山小屋到着。ここで一息水分補給を行い持参したみかん等を食す。短い休憩後すぐに出発し中蒜頂上を目指す。

11:40 中蒜山頂上到着。ここからの眺めは良好だが山陰側はまったく見えない。眼下にはかつて湖だったことがわかるような蒜山の集落が手に取るように見える。環境省の立てた、大山隠岐国立公園や標高一、一二メートルの標識があり絶好の撮影スポット



となつてゐる。我々もここで記念撮影。



ここで休憩をとる登山者もかなり多くさしずめ中蒜銀座ということか？昼食をとるグループも多い。また先生に引率された県外の高校生の姿も見受けられた。我々もしばらくして出発。出発してすぐに下蒜山方面と塩釜冷泉への分かれ道に。



我々は予定通り塩釜冷泉へと向かう。ここからはアップ（登り）は少なくダウン（下り）のみ。ほぼ登山は成功したと樂觀していたが意外にガレ場という岩場も多く鎖場もある。また、けっこう急な場所もあり滑って転倒したり打ち身をあじわう場面も多い。楽勝といい気になっていた自分が甘かった。「大丈夫ですかー!?」と何度もジュニアが声をかけてくれるがさすがすでに棒になっている小生はかなりの打撲を体験済み。

13:00 過ぎ なんだかんだ言いながら中蒜山から一気にくだり塩釜冷泉にたどりつく。さすがに登山経験者の会長、副会長をはじめジュニア・シニアの元気なこと。しばらく休憩をとり以前お世話になった温泉へ向かい今日の疲れを水に流す。その後遅めの昼食となり現地解散とした。

一般的には簡単なコースとされているが、実際歩いてみるとガレ場（岩場）はあり急斜面もありところどころ鎖場もある。決してなめてはかかれぬ。降りてみて改めて振り返ると道中危険な箇所は多々ある。県下の学校教育に蒜山登山は必ず組み入れられていたが、今、学生に聞いてみると学校からの登山はないと聞く。やはり

引率が大変なのだろうと共感するのだが、だからこそ逆にみんなにさせたいしさせなければとも思います。登山を今後是非、KYTに組み入れたいと考えております。



お疲れ様でした!! (TW)



危険予知トレーニング指導者養成講習に参加して

美作市子ども会連合会 長谷 茂

12月8日(土) 岡山県総合福祉ボランティアNPO会館において、全国子ども会連合会、中四国地区子ども会連絡協議会主催の「危険予知トレーニング指導者講習会」が開催され、参加しました。「子ども会KYT」最初はさてどんな講習会だろう？半信半疑で講習会場に行くとすでに中国四国地区から100名の参加者がおられ、ラウンドにグループ分けされ席に着きました。いつもお見かけする方々がおられ少しほっとしました。

これは全子連が主催するもので初級・中級・上級とあり、今回初級で中四国ならびに岡山県で開催されることも初めてのことでした。

KYTのK＝危険・Y＝予知・T＝トレーニング 今まで私の参加した安全講習は事故が発生した時の対処、処理の方法、熱中症、AED、人工呼吸に心臓マッサージでしたが、今回の講習はそれとは異なるもので、子どもたちが自ら学ぶ「安全教育」、子どもたちに効果的に安全能力を身につかせる方法を学ぶ実践的な内容

でした。講師は公益法人「伊藤忠記念財団」の柴田俊明先生で話も理解しやすいく時にはユーモアも交え長い時間もあったという間に過ぎました。

会場では参加者は各班に振り分けられていて全然知らない者同士ある一枚のイラストシート(絵)を見て、子どもの目線で作業や活動の中に潜む「危険要因」それが引き起こす「現象(事故)」を話し合い、「あなたならどうする？」で重要な危険と事故に対する予防、防止のための具体的に実効性のある対策を一人一人考え、最後に「私たちはこうする」とした対策をもとに事故防止のための行動目標をたて実践へつなげるというものでした。

さて、少年活動にKYTが取り入れられた背景は次のとおりです。1976年(昭和51年)8月1日、四葉子ども会(三重県津市)の水死事故が発端で当時、小学3年生の久保よしのり君が活動中、溪谷の15メートルの崖から落ち水死。この時の引率の責任者は地元

59年2月無罪となった。その後、檢察は控訴せず。というもの：要は注意義務違反(指導者の過失責任)

①結果発生の予見

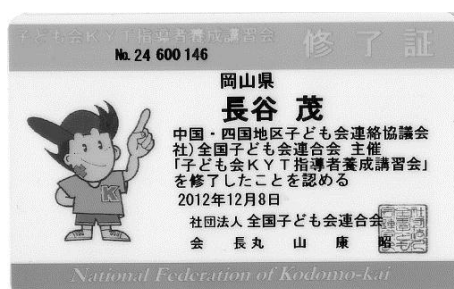
②結果発生を回避する義務

があつたかどうかの観点から無罪となった。決して被告人がボランティアだったからではなく指導者としてのヒューマンエラーもあるかもしれないが受傷者にもヒューマンエラーがあつたとする過失相殺が認められたわけだった。

このようにして子ども会にKYTならびに現在の安全共済会が確立しているのだと思います。一番大事なことは「亡くなった子は帰ってこない」ということ。我々もボランティアであり指導者です。こうした講習会を重ね常に向上心を持たなければならぬということなのです。

最後になりましたがこの素晴らしい「眠くならない」講習会を開催して下さいました主催者、事務局の方々には大変お世話になりました。素晴らしい講習会でした。この講習会で得た知識を活用しKYTを考えることで子どもたちが自らの判断で安全な行動をとり一人一人が危険予知活動をとれるように努め、また日常生活でも危

険に対する感度を高め、「事故」をなくし、危険解決の能力を高めていきたいと思いました。



笠岡より…

平成 24 年 12 月 8 日笠岡市子ども会
は凧作り教室を中央公民館で親子、お
じいちゃんと共に手作り凧作りをし
ました。昔ながらの手作り凧を、子ど
も会会長清水さんとスタッフで指導
し、朝からお昼までのわずかな時間に
立派な凧を制作しました。

平成 25 年 1 月 6 日 (日) に笠岡総
合体育館横のグラウンドで毎年恒例
の凧揚げ大会が行われました。午後 1:30
～午後 3:30 までの間に、「手作り凧デザ
インコンテスト」「凧揚げコンテスト」
「ミニ凧作り」があり毎回多数の親子、
おじいちゃん、おばあちゃんと多くの
子ども達が参加して賑やかに楽しい
時間を過ごしました。また、つくたて
のお餅のふるまいもありました。

広畑 基 (笠岡市)



ぼくたち・わたしたちの
こども会紹介

平成 24 年 11 月 10 日 (土) 午前 9 時
から中尾コミュニティハウスにて
120 本の弊作り。

則本楓太くん宅の竹やぶに高学年男
子 5 人がお父さんたちと軽トラに乗
って竹を取りに行きました。その間、
紅白の奉書紙を女子と低学年が用意
しておき、取ってきた竹の皮を皆でむ
いて、きれいにふいたあと、適当な長
さに切って、奉書紙を竹につけます。
1 週間、水につけておいた亥の子石
を出しておきました。各自、防寒、懐
中電灯、軍手の用意をして午後一時半
に再集合、男子 11 名、女子 10 名、保
護者父 5 名、母 11 名参加。

お父さん方の先導で、役員と低学年
の保護者が付き添い、2 時に福原神社
から出発。

亥の子石に付いている綱が 6 本あ
るので、6 年女子 2 名が 2 本持ち、

5 年男子 4 名、女子 3 名が 2 本ずつ、
町内の約 110 軒を交代で打ってまわり
ました。

「じょうさん天皇参りました」と玄関
で声をかけ、2 年女子は、ご祝儀を頂
く役目(お盆)で、3 年女子が弊を交
代で持つていく役目です。

その他の子は、亥の子のうたを歌い、
暗くなると、石を懐中電灯の光を集め
て照らします。

♪

亥の子 亥の子 亥の子のようさ

餅ついた者は 四方のすみに

蔵建て並べ

じょうさん様を 祝うぞ祝うぞ

エイトエイト サイト

♪

1 時間おきくらいにお茶・トイレ休
憩。5 時過ぎにコミュニティで、お
にぎり・トイレ休憩をして、8 時前に
最後の中尾コミュニティでお祝い
して、お母さん方の用意したうどんと
おにぎりをいただきました。
皆がうどんを食べている間、6 年とそ
の保護者が報奨金の確認と分配決め
をします。

その年ごとの参加人数にもよりま
すが、学年×千円プラスアルファくら
いようです。

その後、保護者の定例会の間、毎年
恒例の(子どもたち同士で自発的な)
きもだめし大会が始まり、おおいに盛
り上がった亥の子の様子でした。

中尾あさ日子供クラブ(美作市)

第 33 回美作市

新春たこあげ大
会が平成 25 年
1 月 3 日、同市
中山の美作野球
場で開かれ、参
加した親子連れ
ら約 300 人が、自
慢の手作りだこを空高く揚げ、楽し
みました。

子ども達はたこを手元に元氣よくグ
ランドを走り、干支の“巳”にちなん
だ蛇や、漫画のキャラクターなどを描
いた自慢の創作だこが優雅に空を舞
うと、「揚がった」などと歓声を上げ
ていました。ひととき大きな三角だこ
を操っていた美作第一小学校 4 年の
小坂優翔君は「風もあって、高く揚が
ったので嬉しかった」とにっこり。
また、美作ライオンズクラブによるう
どんの無料サービスもあり、参加者は
熱々に舌鼓を打っていた。



全国子ども会安全共済会（25年度）

「子ども会に入ろう！」のチラシ（共済会加入案内）を県下各市町村子連において既に配布させていただいているところでございます。

尚、25年度の手続きについて若干変更もございますので連絡させていただきます。

すでに3月末までに市町村子連における申込予定人数の報告はお願いしているところです。（共済様式2-1）5月24日までに加入申込書一式を提出ください。（共済様式2-1、2-2、2-3）同時に共済掛金、県子連共済運営費、連合会費の入金をお願い致します。

※申込書類の内、名簿（2-1、2-2）と事業計画（2-3）について変わります。3枚複写の書類が全子連より各市町村子連に送付されますのでこれを使用願います。

※共済金請求時に添付されていた医療報告書に関し医療費領収書又は診療明細書があれば医療報告書は必要ありません。これを医療機関でいただくようお願い致します。

なお、医療報告書を取り付けなければならなくなった場合の費用は原則個

人負担となりますのでご注意ください。

レクリエーショングッズ貸し出し

県子連ではレクリエーショングッズを貸し出します。詳しくは各市町村子連事務局にお尋ね下さい。

コミュニケーショングッズとして特別にお奨めしたいのは「ドッジビー」と「マンカラ」です。遊び方含めて指導に行かせていただきますので遠慮なくお申込み下さい。



スキヤキ・ジャンケンゲーム

1セット



マンカラ (DX版)

10セット



ラダーゲッター

2セット

ハヤオシピンポンプー

2セット



51-200 ハヤオシピンポンプー ¥6,825 (本体¥6,500)



フライングディスク (競技用)

5枚

編集後記

新年度を迎えました。県北では美作建国1300年の記念行事が色々と予定されています。ぜひ、おいでください。と同時にあなたの街の子ども会の行事の企画・記事・写真があれば事務局まで声をかけていただけたらと思います。

広報部



ディスゲッター

1セット



ドッジビー